

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 002

事務事業名称	スポーツ少年団活動支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1963(S38)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	スポーツ少年団活動補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体に所属する児童			
	サブターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体の指導者			
	ターゲットが抱える課題	子どもたちが日常的にスポーツに接する機会が不足する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スポーツ少年団の活動が活発になることにより、子どもがスポーツを楽しめる環境がより充実した状態。				
事業概要	少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与することを目的として、スポーツ少年団活動がより活発となるよう支援を行う。少年団は、市内の3歳以上の団員10人以上と満20歳以上の指導者により構成される。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		目標をもって継続的により多くの団員がスポーツを楽しむことができる。				支援を受けてスポーツ少年団の活動が活発となり、大会・イベントが開催される。				事業を行うスポーツ少年団に対して補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	スポーツ少年団の登録団員数				大会・イベントの回数				補助金が交付されるスポーツ少年団を構成する種目数			
		単位		人		単位		回		単位		種目	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1,061	1,061	1,061	1,061	11	11	11	11	6	6	6	6
実績	868	819	857		3	4	9		6	5	5		
達成度	81%				82%				83%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.14
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	1,964	1,094		
	会計年度任用職員	0	183	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	2,147	1,094		
	物件費計	17	37	148	250	59.2%
歳出計	2,011	2,184	1,242			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	17	37	148	250		

### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた大会・イベントが再開され、目標値までは至らなかったものの大会回数は前年度の2倍以上となり、登録団員数の減少率もやや改善した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	子どもがスポーツを楽しめる環境のより一層の充実に向けて、引き続きスポーツ少年団活動が活発となるよう支援を行っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 003

事務事業名称	枚方市スポーツ協会加盟団体活動補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	体育団体活動補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会の各加盟団体に所属する人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	大会の開催や市民を対象とした講習会・体験イベントなどスポーツに親しむことができる環境が求められている。また、競技普及の機会が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	団体独自の大会が多く開催されることで、競技者が目標を持って競技に取り組むことができ、競技力が向上していく状態。また、講習会・イベントを実施することで団体登録者や大会参加者増加につながり、各団体の活動が活発になることで市民にとっても年齢や興味または関心に応じた種目を選択し、生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会に加盟する各団体の活動に対して、毎年補助金の支出を行っている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		競技者が目標を持って競技に取り組む、競技力が向上する。				団体主催の大会・スポーツ教室を開催するなど、活動が活性化する。				事業を行う加盟団体に補助金を交付し、活動を支援する。			
指標設定	指標説明	加盟団体が主催・共催する大会等の参加人数				加盟団体主催・共催の大会等実施回数				補助金交付団体数			
		単位		人		単位		回		単位		団体	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	19,800	21,780	23,958	-	70	77	85	27	27	27	27
実績	-	15,721	23,878		-	50	89		27	27	27		
達成度	110%				116%				100%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	703		
	物件費計	615	555	593	675	87.9%
	歳出計	1,413	1,341	1,296		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	615	555	593	675	

## 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた大会等が再開され、大会の実施回数が増加したことに伴い、参加人数も増加し、いずれも目標値を上回る結果となった。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各団体の活動が活発化し、市民が生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態を目指して、引き続き加盟団体に対する支援を行っていく。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 020

事務事業名称	市民スポーツ応援サポート事業補助事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	市民スポーツ応援サポート事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	~ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。				
事業概要	<p>◎スポーツ応援事業 枚方市が世界大会や全国大会出場する選手や団体の応援を行う際や、優勝セレモニーや報告会等を実施する際にサポートを行うとともに、枚方市が連携するスポーツ団体の市民応援事業の募集や受付を実施するなど、市民へ広く情報提供を行う。また、優秀選手や団体の情報収集やセレモニー実施に向けての連絡調整を行う。</p> <p>◎スポーツ情報提供事業 ホームページやSNSにおいて情報発信するために、情報内容や企画、広報、情報提供を行い、継続的にスポーツの普及・啓発を推進する。また、スポーツ図書やスポーツビデオ・DVDの貸出を無料で行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。				アウトプット (活動結果)	スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施するなど、活動が活性化する。				インプット (活動)	事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。			
	指標説明	市の広報またはSNSに掲載された市長表敬及び全国大会応援事業関連記事の数				市長表敬調整及びスポーツ応援事業の実施回数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式: 決算額/当初予算額×100】					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	回	単位	回	単位	%	単位	%	単位	%				
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	20	20	20	20	20	20	20	20	100	100	100	100		
達成度	170%				170%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	798	786	1,484		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	1,484		
	物件費計	1,935	2,851	3,311	3,311	100.0%
歳出計		2,733	3,637	4,795		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,935	2,851	3,311	3,311	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響で休止されていた大会が再開したこともあり、全国大会や世界大会への出場者が増加したことに伴い、市長表敬の実施回数も増加した。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、全国大会や世界大会に出場する市民に関する情報収集及び発信を行い、市民のスポーツへの関心を高めていくため、補助金を交付していく。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 029

事務事業名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助事業												
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	不明			年度	～	年度まで						
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁											
関係補助金名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助金				サンセット	2023(R5)年度		～	2025(R7)年度			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会										
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者										
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。											
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 ◎地域スポーツ・競技スポーツコンサルティング事業 地域(PTA等)や障害者団体のスポーツイベント開催に際し、専門的な知識を活かして企画・運営のコーディネートを行うとともに、ノウハウを持ったスタッフをスポーツボランティアとして派遣するなど、地域スポーツを総合的にコンサルティングする。 また、市等が行う健康増進イベントへも企画提案や支援を行うほか、ニュースポーツの普及や指導者育成に関する助言も行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。				アウトプット (活動結果)	スポーツ協会がスポーツ機会の提供を行い、市民の健康づくりを支援する。				インプット (活動)	事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。			
	指標説明	令和元年度を基準とした参加者の増減率 【算出式:(当該年度におけるイベント参加者数-令和元年度におけるイベント参加者数1721人)/令和元年度におけるイベント参加者数×100】				誰もが障害者とともに参加できるスポーツイベントの参加者数				地域スポーツへのコーディネート、コンサルティング実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	1	2	3	4	2,150	2,170	2,190	2,210	9	9	10	11		
	実績	0	10	▲ 9.40		0	1,905	1,559		7	9	17			
達成度	-313%				71%				170%						

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	703		
物件費計	2,756	2,810	2,868	2,886	99.4%	
歳出計	3,554	3,596	3,571			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	2,756	2,810	2,868	2,886		

### 5. 総括的分析

総括的分析	例年開催していた「ふれあいマラソン」が天候不良で延期となった影響もあり、イベントの参加人数は減少となった。しかし、地域団体等とのイベントの企画・調整においては、今年度新たに連携した団体も多く、地域でのスポーツ活動の活性化につながっている。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	団体・地域ごとの多様なニーズに対応したイベント開催及びコンサルティングにより、市民のライフステージに応じたスポーツ機会を提供するため、引き続き補助金の交付を行う。



# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 030

事務事業名称	スポーツサポーターズバンク事業補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	スポーツサポーターズバンク事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣されて活躍することで、指導者・支援者の活躍する場が広がり、指導・支援を受けることにより市民のスポーツに触れる機会が増えている状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 スポーツサポーターズバンク事業として、指導者や支援者の育成に係る講習会を実施。育成した指導者や支援者に定期的に指導方法のフォローアップ研修を行い指導者や支援者の資質向上に努める。 また、市民のニーズに合わせ指導者を派遣するとともに、中学校部活動などへ指導者の派遣や支援を行い、主にスポーツリーダー(支援者)育成やスポーツインストラクター(指導者)育成、スポーツ指導者・支援者フォローアップ、スポーツ指導者派遣事業などを行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣され、活躍する。	スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、指導者や支援者を発掘・育成する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。							
指標設定	指標説明	発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数				講習会等の参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】			
		単位		回		単位		回		単位		%	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	1	66	69	72	60	117	122	128	100	100	100
	実績	31	30	56		36	180	96		94	97	99.26	
	達成度	81%				79%				99%			

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	703		
	物件費計	5,280	5,306	5,735	5,778	99.3%
	歳出計	6,078	6,092	6,438		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,280	5,306	5,735	5,778	

## 5. 総括的分析

総括的分析	指導者・支援者の派遣回数、目標値には届かなかったものの、オンラインも活用しながら前年度よりも多く実施できた。また、学校部活動との連携を見据えて、広報ひらかたを活用して市民指導者の募集を行ったところ、部活動等で指導できる指導者が増加しており、地域でのスポーツに関する人材育成につながっている。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	学校部活動との連携も踏まえ、地域の人材育成を行うことで、市民のスポーツ活動の振興を図るため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 040

事務事業名称	健康スポーツ普及事業補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	健康スポーツ普及事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 健康スポーツ普及事業として、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みとして、地域展開における楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチ教室などの事業を実施。加盟団体による競技スポーツの普及振興を図るため、スポーツ教室を実施するとともに、専門委員会を組織し、スポーツ教室事業の内容等を検討し、ニーズに即した展開を実施していく。 また、枚方市内の企業への健康経営の取り組みとしてオーダーメイドプログラム(健康パッケージ)の提供を行っていくことで、枚方市の健康増進を進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	各々のニーズに応じた事業に参加し、健康増進や高齢者介護予防のきっかけとする。	スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、スポーツ体験を通じた啓発、知識の普及等を行う。	事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。
指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率 【算出式:(当該年度における各事業参加者数-令和元年度における各事業参加者数(5382人))/令和元年度における各事業参加者数×100】	各事業参加者数	補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】
	単位   %	単位   人	単位   %
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	R2   R3   R4   R5	R2   R3   R4   R5	R2   R3   R4   R5
指標数値	目標 (見込み)	1   2   3   4	6,835   6,835   6,869   6,903
	実績	▲ 57.80   9.98   69.08	2,271   5,919   9,100
達成度	2303%		97%

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	798	786	703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	703		
	物件費計	12,704	12,885	12,390	12,732	97.3%
歳出計		13,502	13,671	13,093		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		12,704	12,885	12,390	12,732	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	プログラムの提供に加えて、健康経営への関心が高まっている企業への、職種や年代に応じたオーダーメイドプログラムの実施や相談が増えていることから、全体的な参加者数も増加している。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	高齢者向けのプログラムや、企業向けの健康経営プログラムなどの提供により市民のスポーツ振興を図るため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 048

事務事業名称	市民オリンピック事業補助事業										
測定年度	2022(R4)年度		部		観光にぎわい部		課		スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業		
事業期間	不明		年度		～				年度まで		
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁										
関係補助金名称	市民オリンピック事業補助金				サンセット	2021(R3)年度		～	2023(R5)年度		
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会									
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者									
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が市民オリンピックを実施することで、参加者がイベントをきっかけに、オリンピック等大規模な大会終了後も継続して様々なスポーツ活動に取り組む状態。										
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 市民オリンピック事業として、東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発事業である「ひらかた市民オリンピック」を開催。現在は小学生を中心に大人の方も参加する運動会形式で実施しており、東京2020オリンピック終了後も、スポーツ熱を継続していけるように、より多くの市民の皆さんが参加できるイベントを企画し、事業を継続していく。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	イベントを実施することで、様々なスポーツ活動に継続的に取り組むきっかけとする。				アウトプット (活動結果)	スポーツ協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				インプット (活動)	事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。			
	指標説明	令和元年度を基準としたイベント参加者数増減率 【算出式:(当該年度における参加者数-令和元年度における参加者数(167人))/令和元年度における参加者数×100】				イベント参加者数					補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】				
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	0	2	3	4	240	184	193	202	100	100	100	100		
	実績	0	0	72.45		0	0	288		88	0	81.22			
達成度	2415%				149%				81%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	0	703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	0	703		
	物件費計	1,097	0	1,311	1,614	81.2%
	歳出計	1,895	0	2,014		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,097	0	1,311	1,614	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	バスケットボールやBMXなどオリンピック種目に関する体験を実施することで注目度が上がり、定員を超える申し込みがあった。当日は雨天により途中で中止となったが、目標値を超える参加者数となった。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民が気軽にスポーツを体験できる機会を提供するため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 051

事務事業名称	新春走ろうかい事業補助事業											
測定年度	2022(R4)年度				観光にぎわい部				課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業			
事業期間	不明				年度		～		年度まで			
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁											
関係補助金名称	新春走ろうかい事業補助金						サンセット		2021(R3)年度		～ 2023(R5)年度	
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会									
	サブターゲット		公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者									
	ターゲットが抱える課題		公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が年代や距離に応じて気軽に参加できる新春走ろうかいを実施することで、大会参加者が健康増進や体力づくりにつなげている状態。											
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市体育協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 新春走ろうかい事業として、昭和52年から毎年成人の日に開催。淀川河川敷において気軽に走れる2kmのジョギングの部から本格的なハーフマラソンまで26種別あり、年代や距離に応じて誰もが気軽に参加できるマラソン事業で、毎年全国各地から約4,000人のランナーが参加している。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	年代や距離に応じて誰もが気軽に参加でき、健康増進のきっかけになる。				スポーツ協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。					
指標設定	指標説明		令和元年度を基準とした参加者数増減率 【算出式:(当該年度におけるイベント参加者数-令和元年度におけるイベント参加者数(4790人))/令和元年度におけるイベント参加者数×100】				イベント参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/当初予算額×100】			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	達成度		-1483%				60%				96%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	703		
	物件費計	8,172	8,877	8,326	8,663	96.1%
	歳出計	8,970	9,663	9,029		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	8,172	8,877	8,326	8,663	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	ウェーブスタート制やオンラインとの併用など、コロナを踏まえた実施方法を継続し、前年度よりは参加者数は増加しているが、目標値には届かなかった。ランナーからの要望を受けて現地表彰やキッチンカーの出店などを実施し、会場での賑わい創出やランナーの満足度向上を図っている。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民が気軽に参加できる新年の恒例イベントとして定着してきており、市民の健康増進を図るため引き続き補助金の交付を行う。



事務事業名称	各種スポーツ大会等開催事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各種大会、イベントに参加する各種スポーツ競技者及び競技者となる可能性がある人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	競技者にとって活動の目標が少なくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各大会に参加する市民の健康維持、体力増進を図られ、スポーツ活動が活発になった状態。				
事業概要	市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動をより活発にすることを目的として、下記事業を実施する。 ①各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ②市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ③ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	各種スポーツ競技者等の市民は、大会・イベントを目標として継続的に活動しやすくなる。				アウトプット (活動結果)	各種スポーツ競技者等の市民は、大会やイベントに参加する。				インプット (活動)	各種スポーツ大会、イベントを開催する。			
	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率				各種大会参加者数				実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	0	▲ 2.5	▲ 5	▲ 7.50	22,000	21,500	21,000	20,500	10	10	10	10		
	実績	▲ 74	▲ 51	▲ 32.52		5,800	11,118	15,291		3	4	12			
達成度	650%				73%				120%						

3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	3,929	3,515		
	会計年度任用職員	0	92	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	4,021	3,515		
	物件費計	29,201	28,616	37,568	37,415	100.4%
	歳出計	32,391	32,637	41,083		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1,112	2,390	3,531	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	1,112	2,390	3,531	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	29,201	27,504	35,178	33,884	

## 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により大会の一部が中止となったことも影響して、各種大会の参加者数は目標値を下回っているが、前年度と比較すると大幅に増えている。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	スポーツ活動に励む市民が活動を継続するための目標として、引き続き実施していく。

事務事業名称	市民スポーツカーニバル開催事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	体力向上や健康増進に興味がある人、普段特定の施設しか利用しない人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	体力向上や健康増進の方法に触れる機会が不足する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	イベントをきっかけとして、参加者の意識が改善し、体力向上や健康増進の取り組みを実施、継続している状態。				
事業概要	毎年体育の日に、市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため気軽に参加できるスポーツイベントを開催することを目的に、各体育施設の指定管理者、体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		参加がきっかけとなり、健康維持、体力増進の取り組みが継続的に実施される。				体力向上や健康増進に興味がある市民が、スポーツカーニバルに参加する。				体育の日に指定管理者や各団体と連携して市民スポーツカーニバルを開催する。			
指標設定	指標説明	事前申し込み制のイベント参加者の満足度 【算出式:アンケートで「満足」または「やや満足」と回答する方/アンケート回答者全体の割合×100】				事前申し込みイベント参加者数				事前申し込みイベント数			
		単位		%		単位		人		単位		事業	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	70	70	75	80	105	105	110	115	3	3	3
	実績	0	0	100		0	0	99		0	0	10	
	達成度	133%				90%				333%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	1,424		
	会計年度任用職員	0	0	52		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	1,476		
	物件費計	0	0	0	3	0.0%
	歳出計	0	0	1,476		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	3	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	令和2年・3年とオリンピック関連事業のため実施していなかったが、3年ぶりに市と各指定管理者とが連携して実施。市はスポーツ推進委員の協力のもと、総合体育館で体力測定を開催し、各指定管理者は施設を利用するきっかけ作りとして、体験教室や無料開放を開催。悪天候によるキャンセルなどで、イベントの参加人数は目標値に至らなかったものの、事前申込イベントで75人、それ以外の参加者が793人、合計で898人の施設利用につながった。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	スポーツ基本法第23条に基づく事業については、市スポーツ協会への補助事業の中で行うなど、事業の実施手法及び本事業のあり方について見直しを行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進審議会条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ライフステージに応じて、様々なスポーツに取り組む人			
	サブターゲット	ライフステージに応じて、これから様々なスポーツに取り組もうとする人			
	ターゲットが抱える課題	生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境がある状態。				
事業概要	<p>だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支えることを目的に、スポーツ基本法第10条に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関する事業を総合的・計画的に推進する。</p> <p>また、条例の規定に基づき、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、教育委員会の諮問に応じてスポーツ推進計画に関する答申を行うとともに、スポーツ推進計画の推進に関する事項やスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。</p> <p>平成28年度に策定した枚方市スポーツ推進計画の計画期間(平成29年度から平成39年度)の中間年度となる令和4年度に、これまでのスポーツ推進の取組を評価・見直し、今後の取組方向の確認を目的に現行計画の中間見直しを行う。</p> <p>中間見直しを行うことで、国や県、その他関連計画との整合を図りながらスポーツを取り巻く環境に対応した計画を推進する。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりにつながる。				アウトプット (活動結果)	計画や審議会の意見に基づき、スポーツ振興に関する事業を実施する。				インプット (活動)	審議会で各部署での取組を点検・評価する。			
	指標説明	答申に対して拡充や見直し等が図られた事業の割合 【算出式: 拡充等が図られた事業/答申を受けた事業数×100】				規模や手法の見直しや、新たな施策展開の答申を受けた事業数				進捗管理を行うのべ施策数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	90	90	90	90	10	10	11	12	219	219	219	219		
	実績	0	0	0		0	0	0		219	219	219			
達成度	0%				0%				100%						

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	3,663	7,812		
	会計年度任用職員	0	183	78		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	105	0		
	人件費計	2,393	3,951	7,890		
	物件費計	10	0	3,080	3,090	99.7%
	歳出計	2,403	3,951	10,970		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	10	0	3,080	3,090	

## 5. 総括的分析

総括的分析	「枚方市スポーツ推進計画」中間年度にあたるため、平成29年度からの取り組み状況を総括するとともに、市民アンケートの結果を踏まえて施策の洗い出し・改善点の検証を行った。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和4年度からの検証内容等をふまえて、「枚方市スポーツ推進計画」の改訂版を作成する。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 491

事務事業名称	サプリ村野スポーツセンター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立サプリ村野スポーツセンター条例、枚方市立サプリ村野スポーツセンター条例施行規則、枚方市立サプリ村野スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	サプリ村野スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	サプリ村野スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	サプリ村野スポーツセンターの維持管理し、この環境整備を通じてスポーツ振興を図ることを目的として、旧村野小学校跡を整備しリニューアルオープンしたサプリ村野スポーツセンター(運動広場、体育館、多目的体育室1～4)の管理運営を行い、生涯スポーツの活動の機会と場を提供することで、市民の健康の増進と体力の向上を図る。施設使用にかかる窓口業務等については、サプリ村野NPOセンターとあわせて、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターへ委託し、実施している。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						サプリ村野スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類					単位 件				単位 件			
	指標数値					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					0	0	0	0	9	9	9	9
達成度					100%				111%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.21
再任用	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,273	4,968	3,403		
	会計年度任用職員	0	19	104		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,273	4,987	3,507		
	物件費計	10,533	10,947	14,030	12,442	112.8%
	歳出計	15,806	15,934	17,537		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	3,011	4,108	5,032	4,866	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1	497	2	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,012	4,605	5,034	4,866	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	7,521	6,342	8,996	7,576	

## 5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。 なお、3年に1度の保守点検実施のため、保守点検の予定件数が前年度より増加している。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	保全計画に基づき、引き続き適切に施設の維持管理を行っていく。



# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 493

事務事業名称	スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、淀川河川敷グラウンドの貸出しに関する要綱、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	淀川河川敷グラウンドの利用者			
	サブターゲット	ゲートボール場の利用者			
	ターゲットが抱える課題	日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	日常的にスポーツを行える施設を維持し、この環境整備を通じてスポーツの振興を図るため、淀川河川敷グラウンド(磯島・牧野)、ゲートボール場の維持管理を実施する。淀川河川敷グラウンドは、国の許可を得て、市民団体に貸し出しており、ゲートボール場は、施設ごとに使用者(地域団体)と協定を締結し、日常的な維持管理は使用者が行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					淀川河川敷グラウンドやゲートボール場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。					
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					0	0	0	0	7	7	7	7
	達成度					100%				100%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.35
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,881	3,131	2,986		
	会計年度任用職員	0	19	104		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,881	3,150	3,090		
	物件費計	3,064	5,436	5,856	6,947	84.3%
	歳出計	5,945	8,586	8,946		
歳入	国庫支出金	0	404	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	404	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	3,064	5,032	5,856	6,947	

## 5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。 なお、利用団体からの申出により、令和4年度末で村野東町ゲートボール場の廃止を行った。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き効果的・効率的な事業実施ができるよう、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業名称	トップアスリートとのふれあい事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している子ども。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内でトップアスリートとふれあい、プレーを間近に見る機会が限られている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもたちがトップアスリートとふれあったり、トップレベルのプレーを間近に見る機会を多く持つことにより、スポーツへの関心を高め、スポーツを通じて夢を持った状態。				
事業概要	青少年の健全な育成、子どもたちにスポーツに対する関心を高めるとともに、子どもたちの夢を育むため、トップアスリートとのふれあい事業を実施する。他に市民スポーツ賞等の表彰等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		子どもたちのスポーツに対する関心が高まるとともに、子どもたちの夢が育まれる。				子どもたちが、トップアスリートとのふれあいや、トップレベルのプレーを間近に見ることができる。				トップアスリートを招聘して子どもたちと触れ合う機会を作る。			
指標設定	指標説明	参加者満足度(アンケート調査)				参加人数				実施回数			
		単位		%	単位		人	単位		回	単位		回
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	80	80	80	0	141	148	155	0	2	2	2
実績	0	0	94.77		0	0	384		0	0	3		
達成度	118%				259%				150%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.53
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	0	4,140		
	会計年度任用職員	0	0	26		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	4,166		
	物件費計	0	0	3,535	3,666	96.4%
歳出計		0	0	7,701		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	330	330	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	330	330	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	3,205	3,336	

## 5. 総括的分析

総括的分析	ラグビーやバレーボール、シッティングバレー、柔道、空手など様々な種目のトップアスリートと一緒に体験したり、直接指導を受ける機会を設けることが出来たため、目標値よりも高い満足度を得ることができた。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	子どもたちのスポーツへの関心を高めていくため、引き続き様々な競技のアスリートとふれあう機会を提供していく。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 495

事務事業名称	スポーツ推進委員関係事務										
測定年度	2022(R4)年度		部		観光にぎわい部		課		スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1962(S37)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進委員に関する規則、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各地域等を代表するスポーツ推進委員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の活性化			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スポーツ推進委員が実施するスポーツイベント、情報提供、アドバイスにより地域住民がスポーツに親しみやすくなる。				
事業概要	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期することを目的として、スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)				
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	47.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	1,964	2,890		
	会計年度任用職員	0	0	78		
	特別職非常勤	0	5,216	5,282		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	7,180	8,250		
物件費計	15	15	15	15	100.0%	
歳出計		2,009	7,195	8,265		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15	15	15	15	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	ウォーキングイベントに加えて、コロナ禍で中止していた親子グラウンド・ゴルフ大会を開催。各地域でのイベント等に加え、市やスポーツ協会のイベントに協力するなど、活動が活発化している。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	主催イベントのほか、各地域での事業の実施を通じて、引き続き地域スポーツの振興や生涯スポーツの促進を図っていく。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 496

事務事業名称	伊加賀スポーツセンター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例施行規則、枚方市立伊加賀スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	伊加賀スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	伊加賀スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	伊加賀スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的として、伊加賀スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	伊加賀スポーツセンターが適正に維持管理される。				インプット (活動)	必要な施設保全や保守点検を行う。			
	指標説明					施設の不備等による事故件数	施設保全や保守点検に関する対応予定件数								
指標設定	指標種類					単位	件					単位	件		
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績					0	0	0	0	3	3	3	3		
達成度					100%				33%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.44
再任用	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,273	4,183	4,193		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,273	4,183	4,193		
	物件費計	42,821	38,972	33,787	33,842	99.8%
歳出計		48,094	43,155	37,980		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,520	1,079	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,520	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		41,301	38,972	33,787	33,842	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者による維持管理に加え、市による施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。



事務事業名称	野外活動センター利用促進事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	学校キャンプを利用する小中学校の児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自然の中での体験学習の機会が不足する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校キャンプの利用数が増え、利用した子どもたちが別の機会に施設利用することで、施設の活性化が図られ、より多くの青少年の健全育成が図られた状態。				
事業概要	野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ(日帰り・宿泊)について、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。(平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	利用者の子どもたちが別の機会に利用するなど、施設利用が底上げされ、施設の活性化が図られる。				アウトプット (活動結果)	支援を行った小中学校の児童・生徒が学校キャンプに参加する。				インプット (活動)	学校ニーズに対応した学校キャンプの支援を行う。			
	指標説明	施設の市内小中学生等の利用者数(日帰り・宿泊)				支援した小学校数				小・中学校を対象としたバス配車件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	6,510	6,510	6,510	6,510	18	18	18	18	23	23	23	23		
	実績	2,712	3,967	5,248		16	21	22		18	21	20			
達成度	81%				122%				87%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.06
再任用	0.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.66
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,120	4,957	3,238		
	会計年度任用職員	0	3,368	1,701		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,120	8,325	4,939		
物件費計	2,891	4,176	3,746	3,913	95.7%	
歳出計	9,011	12,501	8,685			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	2,014	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	391	468	488	644	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	391	2,482	488	644	
一般財源（物件費に充当されるもの）	2,500	1,694	3,258	3,269		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>コロナ禍による施設休所がなくなり、利用者数は目標値には届かなかったものの、前年度よりも増加している。また、バスを利用しない、またはバスの手配は学校側で行い野外活動センター職員がその補助を行うなどにより、バスの手配件数自体は減少したものの、学校キャンプに参加した学校数は前年度よりも増加している。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	多くの学校に利用してもらうため、施設のプログラムの充実など、バスの手配以外の学校キャンプの支援方法についても検討を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

R4調査番号 498

事務事業名称	渚市民体育館維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部		観光にぎわい部		課		スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立市民体育館条例、枚方市立市民体育館条例施行規則、枚方市立市民体育館使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	渚市民体育館の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	渚市民体育館の利用者が安全にできるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	渚市民体育館の維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、渚市民体育館の指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		渚市民体育館が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。							
指標設定	指標説明	施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数							
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	件	単位	件				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					0	0	0	0	5	5	5	5
達成度					100%				100%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.44
再任用	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,273	4,183	4,193		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,273	4,183	4,193		
	物件費計	107,507	73,546	131,423	176,470	74.5%
	歳出計	112,780	77,729	135,616		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,515	1,099	0	0	
	市債	0	0	64,800	97,500	
	その他	1	1	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,516	0	64,800	97,500
	一般財源（物件費に充当されるもの）	105,991	73,546	66,623	78,970	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者による維持管理に加え、市による施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。

# 事務事業実績測定調査

R4調査番号 499

事務事業名称	総合スポーツセンター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度		部		観光にぎわい部		課		スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立総合スポーツセンター条例、枚方市立総合スポーツセンター条例施行規則、枚方市立総合スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	総合スポーツセンターの利用者が安全に利用できるような環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	総合スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、総合スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
			総合スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。					
指標設定	指標説明		施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数					
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値											
	目標 (見込み)											
	実績											
達成度			100%				50%					

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.46
再任用	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,273	4,183	4,349		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,273	4,183	4,349		
	物件費計	265,386	93,548	76,320	77,664	98.3%
	歳出計	270,659	97,731	80,669		
歳入	国庫支出金	924	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,956	2,409	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	5,821	7,767	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,880	2,409	5,821	7,767
	一般財源（物件費に充当されるもの）	262,506	91,139	70,499	69,897	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者による維持管理に加え、市による施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 500

事務事業名称	東部公園野球場維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市都市公園条例、枚方市都市公園条例施行規則、ひらかた東部スタジアム(東部公園野球場)運営に関する内規				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部公園野球場の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	東部公園野球場の利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	野球場の不足に対応し、市民のスポーツ活動を支援することを目的として、硬式野球ができる野球場の整備や施設維持を行うとともに、管理運営に必要な備品について整備する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			東部公園野球場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明		施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	0	0	0	4	4	4	4
	実績		0	0	0		2	2	2	
達成度			100%				50%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,083	2,611	1,814		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,083	2,611	1,814		
	物件費計	10,408	12,402	13,176	14,554	90.5%
	歳出計	12,491	15,013	14,990		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	2,490	3,770	4,325	3,270	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,490	3,770	4,325	3,270	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	7,918	8,632	8,851	11,284	

## 5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。 また、令和5年度からの他の公園施設との一括指定管理に伴う事務移管に向けて、工事委託課と協議及び引継ぎを行った。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	令和5年度から工事委託課が実施する他の公園施設との一括指定管理により、効果的・効率的な運営を行う。



# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 502

事務事業名称	民間スポーツ施設開放事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1988(S63)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	民間施設等活用推進実施要綱、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開放する民間体育施設の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共のスポーツ施設と合わせて利用されることにより、より多くの市民にスポーツ活動の場を提供でき、市民の体力向上や健康増進につながった状態。				
事業概要	企業等の協力のもとに、提供可能なスポーツ施設を広く市民に開放することにより、スポーツ活動の場の充実を図る。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	公共のスポーツ施設の利用状況が緩和し、安全かつ快適な利用環境が整う。	立地や設備なども踏まえ、スポーツを好む市民が民間体育施設を利用する。				民間スポーツ施設を市民に開放する。							
指標設定	指標説明	申込件数				開放件数				協力企業数			
		単位		件		単位		件		単位		企業	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,070	2,080	2,090	2,100	5,489	5,516	5,543	5,570	4	4	4	4
実績	1,111	1,502	1,694		2,932	3,629	4,276		4	4	3		
達成度	81%				77%				75%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	798	1,571	1,016		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	1,571	1,016		
	物件費計	5,542	4,430	4,479	4,626	96.8%
歳出計		6,340	6,001	5,495		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,542	4,430	4,479	4,626	

## 5. 総括的分析

総括的分析	施設の修繕及び老朽化などを理由に、協力企業は1社減少したが、申込及び開放研修は増加している。新規開拓に向けて企業や大学等と協議を行っているが、協力までには至らなかった。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き連携企業を増やすための取り組みを行いつつ、より多くの市民に活用いただけるような手法等について検討していく。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 503

事務事業名称	野外活動センター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1970(S45)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市野外活動センター条例、枚方市野外活動センター条例施行規則、枚方市野外活動センター使用料に関する規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	野外活動センターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	野外活動センターの利用者が安全に利用できるよう整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	野外活動センターの管理運営委託については、これまで枚方市スポーツ協会と随意契約を締結してきたが、事業の硬直化を改善するため、教室やイベントなどソフト事業への協力やカウンセラーの配置などの委託内容について仕様書の精査を行う。また、センター主催で実施している教室やイベント企画などのソフト事業については、可能な限り公民連携プラットフォームを活用し、民間事業者の発案による事業を試行実施する。さらに、森林環境譲与税を活用し、健全な森林を維持するために複数年でセンター周辺の森林環境の整備が終了するよう間伐などを実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)							
		野外活動センターが適正に維持管理される。	必要な施設保全や保守点検を行う。							
指標設定	指標説明	施設の不備等による事故件数	施設保全や保守点検に関する対応予定件数							
	指標種類		単位	件	単位	件				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	0	0	0	18	18	18	18
	実績		0	0	0		17	18	20	
達成度		100%				111%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.17
再任用	1.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.16
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,322	5,477	9,132		
	会計年度任用職員	0	2,189	413		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,322	7,666	9,545		
	物件費計	53,904	66,505	170,955	191,606	89.2%
	歳出計	59,226	74,171	180,500		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	2,817	278	4,624	2,583	
	市債	0	0	65,400	80,000	
	その他	850	1,526	2,124	1,576	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,667	1,525	72,148	84,159	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	50,237	64,980	98,807	107,447	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。 なお、複数年に1回の定期点検実施のため、保守点検件数が前年度に比べて増加している。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	保全計画に基づき、引き続き適切に施設の維持管理を行っていく。また、随意契約としてきた運営委託については、入札にするなど見直しを行っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 905

事務事業名称	スポーツ振興課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	スポーツ振興課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所管事務を効率的かつ効果的に執行すること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各業務の点検・評価を行うことで、所管事務に関する手法改善を随時行い、業務を円滑に遂行できる。				
事業概要	課の運営事務				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.65
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	5,330		
	会計年度任用職員	0	37	232		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,180	5,562		
	物件費計	2,076	1,212	4,063	4,355	93.3%
	歳出計	5,266	4,392	9,625		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	2,832	3,252	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	2,832	3,252	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,076	1,212	1,231	1,103	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>【スポーツ振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、車両関係</p> <p>【スポーツ振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約関係事務、文書関係事務、職員の服務・給与・休暇に関する事務</p> <p>【その他】コロナ対応、AED関係、地元スポーツチームとの連携協定に関する事業（応援のぼり）等</p>
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課所管事務の適正な執行に向けて、各課庶務関係事務を正確かつ適正に実行する。